

湖南省制10周年記念事業

# 第11回 湖南省青少年育成大会

速報!

今年の中学生実行委員の  
メンバーが決まりました!

石部中学校  
実行委員  
のみなさん



甲西中学校  
実行委員  
のみなさん



活動発表・作文発表・  
事例発表・ロビー展示…  
今年の実行委員は  
何をやってくれるのかな～  
ワクワク♪ 楽しみ!



湖南省制10周年記念事業

## 第11回 湖南省青少年育成大会のお知らせ

場所

平成26年11月30日(日)

13:00～16:00(予定)

日時

石部文化ホール

湖南省の宝、子どもたちの健やかな笑顔を育む

# 育み

～はぐくみ～

第5号  
平成26年7月

湖南省青少年育成市民会議

## 自然体験活動研修会・デイキャンプ

KYT(危険予知トレーニング)  
シートの中の危ないところ、  
いくつ見つかった?



アルミ缶でご飯を炊きました。  
「めっちゃ大変やったけど、  
おいしかった!」

鶏の丸焼き、  
上手く  
できてるかな?



平成26年7月5日(土) 湖南省自然道場において、自然体験活動研修会とデイキャンプを実施しました。  
研修会では、KYT(危険予知トレーニング)を行い、子どもたちが自分たちで危険を見つけ、身を守る事を学習しました。  
また、その後引き続き行われたデイキャンプでは、KYTで学んだ事に気を付けながら、アルミ缶を使ってご飯を炊き、  
鶏の丸焼きを作り、みんなで楽しく食べました。  
アルミ缶に穴を開ける作業や、燃料の代わりにする紙バックを切る作業は根気のいる大変な作業でしたが、最後まで  
一人でやり抜いた子、早く終わってまだの子を手伝う子もいて、炊き上がったご飯は格別。どの子も楽しそうな笑顔で  
した。鶏の丸焼きも思っていたより大きく、焼き上がって包んでいたアルミホイルをワクワクドキドキしながら開けている  
様子と、ほおばっている様子にスタッフの方が嬉しくなりました。  
子どもたち自身が、何が危険かを見つけ対応策を考えるきっかけになり、楽しい夏休みを過ごしてほしいものです。



## 湖南省青少年育成市民会議

### 「あいさつでつながる心と未来」

湖南省青少年育成市民会議 会長 藤原 忠昭

今年度、湖南省青少年育成市民会議は、「あいさつでつながる心と未来」をキャッチフレーズに決めました。

あいさつはコミュニケーションの基本です。子どもたちはあいさつを通して多くの人々と出会い、ふれあい・経験をし、育っていきます。

湖南省では、各学区民会議があいさつ運動を実施し、成果をあげております。家庭・学校・地域で、さらに強力に展開して行きましょう。

〈平成26年度〉湖南省青少年育成市民会議の主な取組

|           |                                     |
|-----------|-------------------------------------|
| 5/14 (水)  | 湖南省青少年育成市民会議評議員会 (総会)               |
| 7/1 (火)   | 市内一斉街頭啓発                            |
| 7/5 (土)   | 自然体験活動研修会・デイキャンプ                    |
| 7月中旬      | 広報「育み」第5号発行                         |
| 11/30 (日) | 湖南省制10周年記念事業<br>第11回湖南省青少年育成大会 開催予定 |
| 1月中旬      | 広報「育み」第6号発行予定                       |



評議員会の様子



評議員会の後、人権研修会を行いました



街頭啓発の様子

## 三雲東青少年育成学区民会議

### 「ひがしっ子みまもりたい」 会長 九條 親道

“地域のこどもは地域で守り育てる”を合言葉に、地域の皆さんにご協力をいただき、毎年、夏期巡回指導やあいさつ運動、1日イベント(あつまれ!! ひがしっ子)の開催などを行っています。

平成25年度  
あつまれ!! ひがしっ子  
かまどベンチで  
ご飯を炊こう!



パラシュットで一つの輪に



折り紙貼り付け 各チームの思い記入



## 水戸青少年育成学区民会議

### 「水戸物語」 会長 松尾 宏

水戸青少年学区民会議では、湖南工業団地誕生50年目に当たる平成25年度、子ども向けに小冊子「水戸物語」を作成しました。皆様に内容の一部を紹介します。



手作りのたるみこしを担いで出発!

子どもたちに祭りを

5月1日は、町内(旧甲西町)どの学校も、神社の例祭のため午前授業の後は放課。地域に神社もお祭りもない団地の子どもたちは「よその学校はいいな。みんなお祭りだ。」と団地に祭りがなないことを残念がっていました。このことを知った自治会の人たちは、「親子で楽しめる祭りをぜひやろう。」と準備を始め、3か月かけて大人みこし3基、子どもみこし3基を作製しました。

昭和55年5月1日。正午きっかりに、まぶしいような5月の空に「ドーン、ドン」と花火が上がり、声高らかに第一回団地祭りの開会宣言がなされました。開会式の後、子どもたちは手づくりのみこしを担ぎ、約2時間かけて団地のあちこちを練り歩きました。大人も付き添って歩きました。みこしが会場に戻ってきた後は、漫画映画大会、福引大会などが行われ、大人も子どももお祭りを楽しみました。あちこちに笑顔の花が咲き、団地初めてのお祭りは大成功でした。

### 「地域の子どもは、地域で守り育てる」 会長 福島 正典

平素は、三雲青少年育成学区民会議の活動に対しまして、ご支援、ご理解ご協力を賜り厚く御礼申し上げます。今年度は湖南省が誕生して10年の節目を迎えます。活動を通して振り返ってみますと、伸び伸びと活動する子供たちの姿を目にする一方、暴力行為、万引き、自転車盗等の初発型非行や、深夜徘徊、喫煙、飲酒、児童虐待、いじめ等、深刻な状況も、見受けられます。

子どもは、善いことも、悪い事も吸収してしまいます。社会を取り巻くすべての人々が、役割と、責任を果たしつつ、協力しながら青少年の健全育成に取り組む事が大変重要だと思います。

本年度も、家庭・学校・地域等と連携して、『地域啓発活動』『巡回指導活動』『三雲っ子通信の発行』『夏休みわくわく体験事業』『住民のつどいへの参画』『柑子袋まちづくりセンター、ゆめまつりへの参加協力』等、多数の事業を展開してまいります。

『地域の子どもは、地域で守り育てる』を念頭に、精一杯頑張らせて頂きたいと思っております。最後になりましたが、これからも地域の皆さんのご支援、ご理解、ご協力をよろしくお願いいたします。

昨年  
三雲東学区民会議と  
合同で行われた  
「青少年育成事業」の様子

